



第6次高浜市総合計画 後期基本計画 〈素案〉

思いやり 支え合い
手と手をつなぐ
大家族たかはま



平成29年9月
高浜市

目 次

第1章 はじめに

1. 計画策定の趣旨
2. 総合計画の構成と期間

第2章 基本構想

1. 目指すまちの姿 ～将来都市像と基本目標
2. 人口の見通し
3. 土地利用構想
4. 地域展望

第3章 基本計画【後期】

1. 基本計画の体系
2. 「みんなで目指すまちづくり指標」一覧
3. 基本計画の見方 2ページ
4. 基本計画
 - I. みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう
 - 目標1 まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります 4ページ
 - 目標2 将来を見据えた健全な財政運営を行います 6ページ
 - II. 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう
 - 目標3 人と学びの輪を広げ、まちのチカラを育みます 8ページ
 - 目標4 学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます 10ページ
 - 目標5 子育て・子育てを支える環境を整えます 12ページ
 - III. 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう
 - 目標6 産業を活性化して、まちを元気にします 14ページ
 - 目標7 みんなでまちをきれいにします 16ページ
 - 目標8 自然と都市機能が調和した都市空間をつくります 18ページ
 - 目標9 安全・安心が実感できる地域づくりを進めます 20ページ
 - IV. いつも笑顔で健やかに つながり 100倍ひろげよう
 - 目標10 一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます 22ページ
 - 目標11 一人ひとりの元気と健康づくりを応援します 24ページ

第4章 計画の進行管理

1. 計画の進行管理 28ページ

資料編

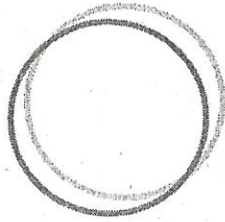
- 高浜市総合計画審議会委員名簿
- 策定体制図
- 諮問・答申
- 策定のあゆみ
- 高浜市自治基本条例



第3章 基本計画

【後期】

平成30年度(2018)～平成33年度(2021)



基本計画の見方

・基本構想に掲げた「将来都市像」や「まちづくりの基本目標」の実現に向けて、目標（あるべき姿）をワンプレーズで表しています。

▶ 基本目標Ⅰ みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

目標（1）

まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります

・目標に掲げたまちの姿を具体的に描いたもので、4年後（2021）の高浜市が「こんなふうだったらいいなあ」、「こんなふうにしていきたい」という想いを表しています。

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ まちの課題や目標が市民と行政で共有され、市民が市政を身近に感じ、市政に対する関心・理解、満足感・納得感が高まっています。
- ◎ まちへの愛着が高まり、まちのことを「自分ごと」として考え、まちを大切にし、高浜市にかかわるすべての人が、自分にできる“まちづくり”を行っています。
- ◎ 職員一人ひとりが地域課題について考え、市民や地域の想いに寄り添いながら、課題の解決に取り組んでいます。

目標達成に向けての考え方

「いつまでも住み続けたい！」と思える高浜市を未来へとつないでいくために、まちの目指す姿を共有し、市民・地域・行政がそれぞれの力を高め、みんなで連携・協力できる「つながるまちづくり」を進めていきます。

・世の中の動きや高浜市の現状・課題を踏まえ、目標達成に向けての考え方や道筋を表しています。

- ◆ 高浜市に暮らす満足感を高めるためには、まちの課題や目標が市民と行政で共有されるよう積極的なコミュニケーションが重要です。
- ◆ まちへの愛着を高め、自分にできる“まちづくり”に一人ひとりが関わっていくためには、それぞれが活躍できる・必要とされるステージをみんなで協力しながら作り上げることが大切です。
- ◆ 職員は、高浜市民の一員として、自分に合った地域との関わり方を持つとともに、地域から能力や人柄が認められ、必要とされる人材になることが大切です。

MEMO

「この目標が目指す4年後のまちの姿」と
「みんなで目指すまちづくり指標」は、
行政の行動指針・取組みの達成状況を示しています。

こんなことに取り組みます！

- ☆ 市民と行政がお互いの考えをしっかりと理解できるよう、必要な情報がいつでもどこでも得られる仕組みの構築と積極的な情報発信を行います。
- ☆ 市民・地域・行政が得意分野を活かし、それぞれのステージで自分たちのできる“まちづくり”に取り組んでいくための環境づくりを進めます。
- ☆ 職員のワークライフバランスを考えた「働き方」改革と、職員が地域に飛び出す“きっかけづくり”から“課題発見・解決”まで段階に応じた成長支援を行います。

・課題を解決し、目標を達成するための取組みの方向性を示しています。

・「目標」「この目標が目指す4年後のまちの姿」の達成度合いを示す目安として「みんなで目指すまちづくり指標」を掲げます。

・現状値は、各々の指標に関する直近のデータを示しています。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 市の情報発信に満足している人の割合	〇〇%	〇〇%	↗
2) 地域活動に参加したことがある人の割合	62.9%	65%	↗
3) 職員が地域に出て活躍していると思っている人の割合	〇〇%	〇〇%	↗

↗ 指標の値が増加することが望ましいことを示しています。

→ 指標の値を維持することに努めることを示しています。

↘ 指標の値が減少することが望ましいことを示しています。



取組みに関連する写真や、統計データのグラフなどを掲載しています。

▶ 基本目標 I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

目標 (1)

まちへの想いを育み、いつまでも住み続けたいと思えるまちをつくります

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ まちの課題や目標が市民と行政で共有され、市民が市政を身近に感じ、市政に対する関心・理解、満足感・納得感が高まっています。
- ◎ まちへの愛着が高まり、まちのことを「自分ごと」として考え、まちを大切にし、高浜市にかかわるすべての人が、自分にできる“まちづくり”を行っています。
- ◎ 職員一人ひとりが地域課題について考え、市民や地域の想いに寄り添いながら、課題の解決に取り組んでいます。

目標達成に向けての考え方

「いつまでも住み続けたい！」と思える高浜市を未来へとつないでいくために、まちの目指す姿を共有し、市民・地域・行政がそれぞれの力を高め、みんなで連携・協力できる「つながるまちづくり」を進めていきます。

- ◆ 高浜市に暮らす満足感を高めるためには、まちの課題や目標が市民と行政で共有されるよう積極的なコミュニケーションが重要です。
- ◆ まちへの愛着を高め、自分にできる“まちづくり”に一人ひとりが関わっていくためには、それぞれが活躍できる・必要とされるステージをみんなで協力しながらつくり上げることが大切です。
- ◆ 職員は、高浜市民の一員として、自分に合った地域との関わり方を持つとともに、地域から能力や人柄が認められ、必要とされる人材になることが大切です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

- ☆ 市民と行政がお互いの考えをしっかりと理解できるよう、必要な情報がいつでもどこでも得られる仕組みの構築と積極的な情報発信を行います。
- ☆ 市民・地域・行政が得意分野を活かし、それぞれのステージで自分たちのできる“まちづくり”に取り組んでいくための環境づくりを進めます。
- ☆ 職員のワークライフバランスを考えた「働き方」改革と、職員が地域に飛び出す“きっかけづくり”から“課題発見・解決”まで段階に応じた成長支援を行います。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 市の情報発信に満足している人の割合	〇〇%	〇〇%	↗
2) 地域活動に参加したことがある人の割合	63%	65%	↗
3) 職員が地域に出て活躍していると思っている人の割合	〇〇%	〇〇%	↗



▲まちづくり出前授業



▲高浜の未来について考える



▲地域で活躍する職員

▶ 基本目標Ⅰ みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

目標(2)

将来を見据えた健全な財政運営を行います

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 市の財政運営に関する情報、税金に関する情報がタイムリーに発信されています。
- ◎ 市税などの財源が確保されるとともに、事業の「選択と集中」により真に必要な事業が実施され、少子高齢化に見合った持続可能な財政運営が行われています。
- ◎ 公共施設の機能複合化による総量圧縮、改修による長寿命化等の取組みが市民に理解され、公共施設総合管理計画が着実に推進されています。

目標達成に向けての考え方

今後の財政見通しでは、公共施設の老朽化に係る財政負担、少子高齢化の進展に伴う社会保障関連経費の増加が見込まれ、市の財政運営に大きな影響を及ぼすことが予想されます。そこで、財政運営に関する情報等を市民と共有するとともに、“入るを量りて、出ずるを制す”の考え方にも留意し、歳入・歳出の両面から財政基盤の強化に取り組むことが欠かせません。

- ◆ 市の財政運営に対する理解を深めることが重要です。
- ◆ 市税など財源の確保と真に必要な事業の見極めによる事業の実施により、歳入・歳出のバランスのとれた財政運営に取り組む必要があります。
- ◆ 公共施設管理に「経営」の視点を取り入れ、真に必要な公共施設サービスを持続しつつ、計画的に公共施設の総量圧縮を進めていくことが大切です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

- ☆ 市の財政運営や税金に関する情報など、市民の知りたい財政情報を積極的に発信します。
- ☆ 工業用地の創出、市税徴収力の強化、受益者負担の適正化など、財源の確保に努めるとともに、真に必要な事業を見極め、限りある財源のより効率的・効果的な活用に取り組みます。
- ☆ 公共施設の総量圧縮や長寿命化に対する市民の理解を高めるとともに、順次、個別施設計画を策定し、公共施設総合管理計画の着実な推進につなげます。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 経常収支比率	* 88.8%	80%台維持	→
2) 市の財政に関心のある人の割合	74%	78%	↗

* 経常収支比率の現状値 (2017) 88.8%は、過去 5 年間 (平成 24 年度～28 年度) の平均値です。



▲H28 中学生総合学習の写真
(中学生が市の財政を勉強しているようす)

家計簿に置き換えてみよう!

お父さん
お母さん
お兄さん
お姉さん

お父さん
お母さん
お兄さん
お姉さん

お父さんのお給料
お母さんのパート収入
お兄さんのアルバイト収入
お姉さんのアルバイト収入
お父さんの退職金
お母さんの退職金
お兄さんのアルバイト収入
お姉さんのアルバイト収入

お父さんのお給料 417,000円

お母さんのパート収入 58,000円

お兄さんのアルバイト収入 174,000円

お姉さんのアルバイト収入 14,000円

収入計 663,000円

お父さんの生活費 90,000円

お母さんの生活費 136,000円

お兄さんの生活費 43,000円

お姉さんの生活費 36,000円

お父さんの生活費 74,000円

お母さんの生活費 284,000円

支出計 663,000円

家計簿がなくなってしまったら、お父さんのお給料やお母さんのパート収入、お兄さんのアルバイト収入、お姉さんのアルバイト収入を、お父さんのお給料やお母さんのパート収入、お兄さんのアルバイト収入、お姉さんのアルバイト収入に置き換えてみましょう。

お父さんのお給料やお母さんのパート収入、お兄さんのアルバイト収入、お姉さんのアルバイト収入を、お父さんのお給料やお母さんのパート収入、お兄さんのアルバイト収入、お姉さんのアルバイト収入に置き換えてみましょう。

▲中学生向け予算資料「予算の使いみち」
(市の予算を家計簿に置き換えてみよう!)

▶ 基本目標Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

目標 (3)

人と学びの輪を広げ、まちのチカラを育みます

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 個人が培ってきた知恵・特技・体験などが、人づくり（特に子ども・若者の成長応援）やまちづくりに活かされ、子どもから大人まで、ともに成長しています。
- ◎ まなび・文化・スポーツ活動を通して市民同士の交流が深まり、「高浜市が好き」「市民や地域のために何かやってみたい」という市民が増えています。
- ◎ 先人たちのあゆみやまちの魅力・自慢が市民共有の財産として継承され、まちづくりに活かされています。

目標達成に向けての考え方

市民・地域・生涯学習機関・事業者などと連携して、まなび・文化・スポーツ活動を通して人と人がつながり、互いに磨き合うことができる機会を創出するとともに、様々なまちの魅力・自慢に触れることにより「高浜市が好き」という想いを高め、「住んでいるまちをよりよくしたい」といった動きにつなげていきます。

- ◆ まちの魅力・自慢に触れる機会を豊かにし、「知りたい」「調べてみよう」といった興味や意欲を高め、市民に「伝えたい」、地域のために「役立ちたい」「活動してみたい」といった動きにつなげていくことが重要です。
- ◆ 市民同士が学び合い、つながりを深めることができる多様な機会を、創出していくことが大切です。
- ◆ 次世代を担う子ども・若者の「やってみたい」「こうしたい」を応援する輪を広げていくことが必要です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

- ☆ 市民とともにまちの魅力・自慢（歴史・文化・伝統・産業・景観など）を掘り起こし、将来に向けて守り、伝え、活かしていく活動を強化します。
- ☆ 市民（特に子ども・若者）の「知りたい」「やってみたい」「役立ちたい」を応援する取組みを進めます。
- ☆ 「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションの機会をつくり、市民交流の場を充実します。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 高浜市に愛着や誇りを持っている人の割合	71%	76%	↗
2) 将来の夢・希望・目標を持っている子どもの割合	76%	81%	↗
3) 持っている知識・特技・体験などを地域や社会活動に活かしている人の割合	〇〇%	〇〇%	↗



▲高浜市誌編さん事業（「聞き書き」の実践）



▲生涯スポーツ推進事業（ファミリーバドミントン体験）

▶ 基本目標Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

目標（4）

学校・家庭・地域が連携を深め、12年間の学びや育ちをつなげます

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 教師が異校種参観を行い、互いの教育観や指導法への理解を深め、教師力を向上させたり、子どもたちが異校種間連携事業を行い、自己有用感を高めたりしている。
- ◎ 子どもたちが、教職員だけでなく地域の人たち（ゲストティーチャー等）と関わり、高浜市の伝統・文化等を学び、高浜市の良さを感じながら成長している。
- ◎ 子どもたち一人ひとりのニーズに応じた支援を継続的・発展的に行うためのシステムが構築され、各園・各校による、個に応じた教育が充実している。

目標達成に向けての考え方

幼稚園・保育園、小学校、中学校といった異校種間の「タテのつながり」と、園・学校・家庭・地域といった「ヨコのつながり」を密にし、次世代を担う子どもをみんなで力を合わせて育てていきます。

- ◆ 生きる力を養うには、各園・各学校が連携し、思考力を中核とし、それを支える基礎力と、使い方を方向付ける実践力の三層構造を意識して学びをつなぐことが重要です。
- ◆ 子どもたちが「高浜市の良さ」や「高浜市民の一員である」ことを感じながら成長していく教育活動を推進することが大切です。
- ◆ 個に応じた教育の充実を図るには、幼・保、小、中と関係機関が連携して支援情報を引き継ぐことと、ニーズに応じた支援を進めるための教師力の向上が重要です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

- ☆ 幼・保、小、中の垣根を越えて、教職員同士が情報交換（異校種参観）を密にするとともに、子どもたちの交流（異校種間連携事業）を行う等、発達段階に応じた教育（高浜カリキュラム教科版・高浜版指導法）を実践します。
- ☆ 各園・各学校の特色や高浜市のまちの資源（ひと・もの・こと）を活かした「高浜カリキュラム」（食育・生活・総合的な学習の時間）を地域と協働して実践するとともに、ICTを活用した授業や高浜版プログラミング教育を実践します。
- ☆ 幼・保、小、中・関係機関が「特別支援ファイル」を作成・活用して、子どもの支援情報を丁寧に引き継いでいきます。また、特別支援アドバイザーや専門家チームの派遣をしたり、特別支援教育研修会を充実するなど、ニーズに応じた支援ができるように、教師力の向上を図ります。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 学習に積極的に取り組む子どもの割合	76%	78%	➔
2) 学校が好きだと感じている子どもの割合	89%	90%	➔

～自分のまちを大切にする子～



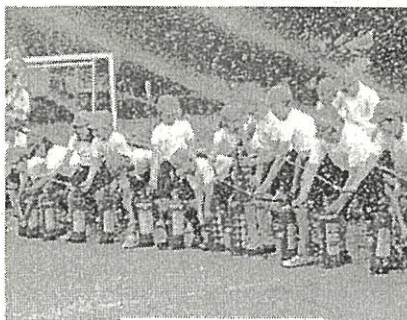
【異小】eデーふれあいの翼



【高取小】どろんこカップ



【吉浜北部保】まち協の方と野菜のクイズ大会



【高浜小】防災教室



【港小】鬼あかり作り



【高取保】お昼寝中もなかよし

▶ 基本目標Ⅱ 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

目標（5）

子育て・子育てを支える環境を整えます

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 安心して子どもを産み育てられるよう、教育・保育環境や、保護者が働く職場環境が整っています。
- ◎ 身近な大人が、子どもの目線を大切にし、子どもの遊びや成長を温かく見守る視点が常に共有されています。
- ◎ 日頃から子どもが気軽に集え、自然に世代間交流ができ、子どもがのびのびと活動できる身近な場所が整っています。

目標達成に向けての考え方

行政、地域、保護者の職場となる企業なども積極的に関わり、子育て・子育てを総合的に支援することにより、子どもが健やかに遊び、成長し、また、保護者が安心して子どもを産み育てることができる環境を整えていきます。

- ◆ 将来を見据え、既存の施設やサービスを活用し、様々な主体が活躍し、待機児童ゼロをめざし、子育て・子育てを支える環境を整えていくことが重要です。
- ◆ 子どもや子育て中の保護者が、居住する地域の一員として活動に参画し、地域に居場所や役割があることが重要です。
- ◆ 身近な大人と一緒に楽しみながら、子どもが心豊かにたくましく成長できる場があることが大切です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

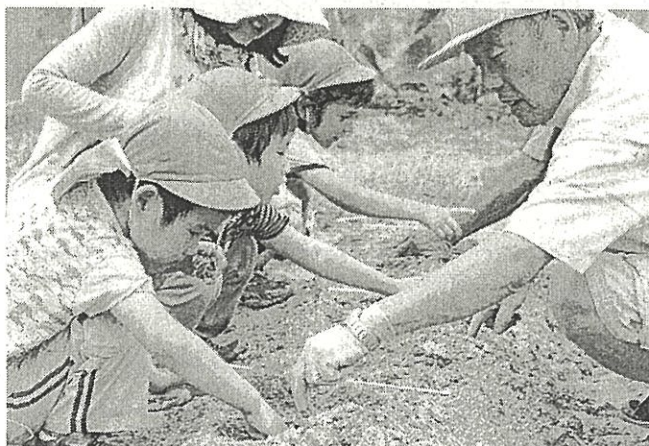
- ☆ 「高浜市子ども・子育て支援事業計画」に沿って、多様で柔軟な保育サービスの提供など、教育・保育ニーズに対応し、待機児童ゼロをめざします。
- ☆ 子どもの想いを理解し、子どもの視点に立って、子育てを支える大人を増やしていきます。
- ☆ 身近な場所に、子どもの自主性・社会性をはぐくめるよう、自然に世代間や異年齢交流などができる場を増やしていきます。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 子どもを産み育てやすいと感じている人の割合	66%	70%	↗
2) 子どもとふれあう行事に参加したことがある人の割合	50%	57%	↗
3) 待機児童数	17人	0人	↘



▲赤ちゃんと中学生との交流



▲地域の方と園児とのふれあい

▶ 基本目標Ⅲ 明日を生まだすエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

目標（6）

産業を活性化して、まちを元気にします

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 産業活動が活発に行われ、市内の雇用が安定しています。
- ◎ 市内事業者の受注機会が増え、売り上げが増加しています。
- ◎ 市民の手で地域資源が掘り起こされ、まちの魅力が高まっています。
- ◎ まちの魅力に触れようと市内外から多くの人を訪れてきています。

目標達成に向けての考え方

産業は、まちに活力を生み出し、市民の働く場の確保や所得を得て、消費の場となるなど、安定した市民生活を支える基盤です。優良農地の保全をしつつ、地場産業の振興、企業誘致の促進、企業や事業者の新たな取り組みや意欲・挑戦を応援していきます。

- ◆ 地域経済の活性化や地域雇用の安定を図るため、企業誘致を進めるとともに、既存企業の新たな取り組みや頑張りを支援することが重要です。
- ◆ 三州瓦の産地としての伝統技術・文化の継承のため、行政と業界がそれぞれの役割を担い、連携することが大切です。
- ◆ 地元の若者が地元の企業に興味を持ち、将来高浜市で活躍したいと感じられるよう地域と若者をつなげる仕組みが必要です。
- ◆ まちの魅力を発掘・育成・再確認し、自慢できるまちとして市内外に発信していくことが大切です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

- ☆ 新たな工業用地を創出し、企業誘致を進めるとともに、既存企業の投資意欲を高める支援策を推進します。
- ☆ 災害による風評被害の払しょくや伝統性を活かした商品開発、ブランド化など、地場産業である三州瓦の優位性やデザイン性をPRするため、「高浜市みんなで三州瓦をひろめよう条例」を推進します。
- ☆ 高浜高校SBP（ソーシャルビジネスプロジェクト）を支援し、高浜市の産業を全国的にPRするなど、ビジネス手法を用いた若い世代の育成支援をします。
- ☆ 高浜市観光協会や関連団体が行うイベントや高浜市のPRに対し人的支援、活動支援をします。

みんなで目指すまちづくり指標

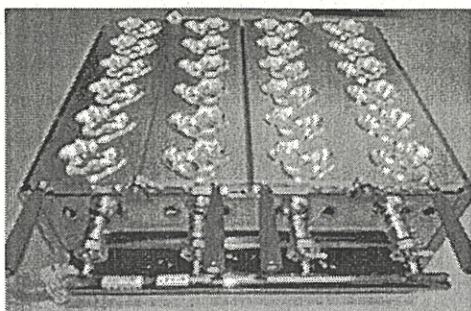
目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 市内の法人数	919 社	930 社	↗
2) 行政がかかわるイベントの来場者数	86,000 人	100,000 人	↗



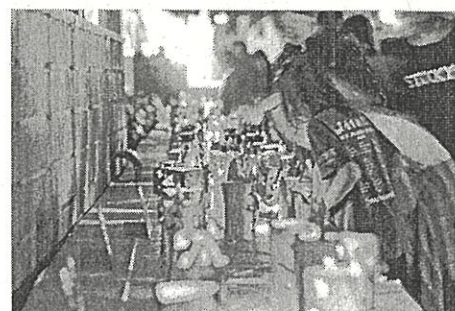
▲工業用地（市東部地区）



▲三河の祭業展のようす



▲Sの絆焼き型（高浜高校SBP）



▲鬼みちまつりのようす

▶ 基本目標Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

目標（7）

みんなでまちをきれいにします

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎地球環境から身近な生活環境まで、環境に配慮して行動する市民、事業者が増えています。
- ◎道路や公園などに、ごみの散乱がなく、きれいで住みやすいまちになっています。
- ◎ごみをつくらない（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の3R活動が推進され、ごみの減量化が図られています。

目標達成に向けての考え方

人類の共有財産である地球環境を守るため、一人ひとりが地球環境に対する意識を高め、地域・学校・事業者・関係機関と協力して環境に配慮した取組みを実践し、環境の負荷が少ない、快適できれいなまちを次世代に引き継ぎます。

- ◆ 一人ひとりが地球環境問題に関心を持ち、それぞれの立場で、積極的に環境保全活動に取り組むことが重要です。
- ◆ きれいで住みやすいまちをつくるには、環境美化・環境学習などの取組みが大切です。
- ◆ さらなるごみの減量化を図るには、ごみをつくらない（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の3R活動を推進することが必要です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

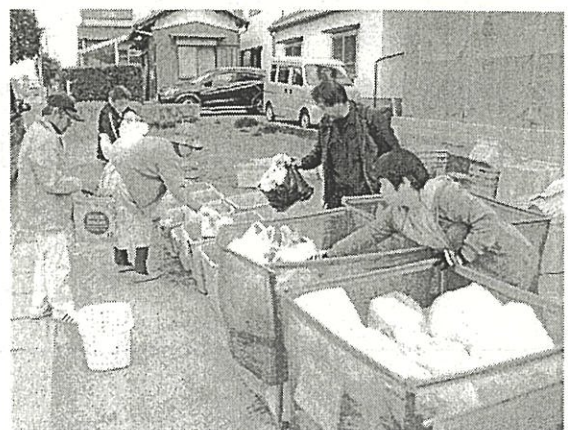
- ☆ 地域・学校・事業者・関係機関と連携した環境保全活動に取り組みます。
- ☆ 「高浜市みんなでまちをきれいにしよう条例」を推進し、環境美化活動を進めます。
- ☆ 循環型社会の構築に向け、資源ごみのリサイクルを進め、ごみの減量化に取り組みます。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 日ごろから省資源や省エネなど環境に配慮した生活をしている人の割合	78%	85%	↗
2) 1人1日あたりの家庭ごみ排出量	540g	490g	↘



▲企業による清掃活動



▲資源回収のようす

▶ 基本目標Ⅲ 明日を生み出すエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

目標(8)

自然と都市機能が調和した都市空間をつくります

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 都市空間の調和を保ち、安心して安全な暮らしを支える道路などの整備・保全が計画的に行われています。
- ◎ 快適な生活の維持に必要な不可欠なライフラインが整備されるとともに、いつでもすべての市民に安定して水が供給できています。
- ◎ 公園・緑地などが地域とともに守り育てられ、まちの憩いの場として親しまれています。

目標達成に向けての考え方

住みやすい快適な都市空間をつくるため、道路やライフライン等について、予防保全型の計画的な維持管理や長寿命化を図るとともに、公園・緑地といった地域資源を地域とともに守り、まちの魅力を高めていきます。

- ◆ 日常生活に必要な道路等の調査・点検を定期的実施し、スムーズに移動できるみちが必要です。
- ◆ 災害時でも安全・安心な住環境が確保できるよう、配水管の耐震化を長期的な観点で計画的に整えていくことが大切です。
- ◆ 魅力ある公園・緑地づくりのため、地域とともに適切な維持管理を行い、長寿命化させていくことが大切です。

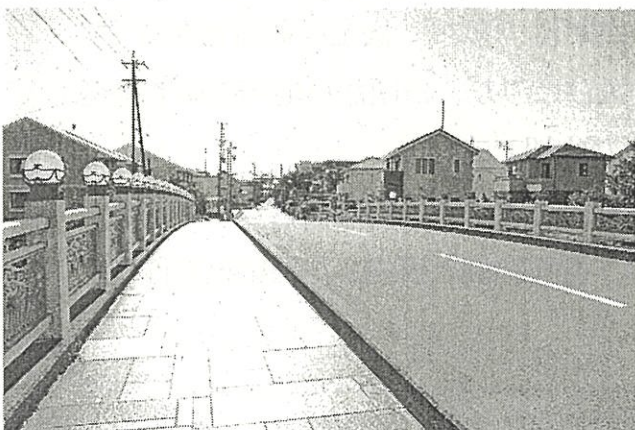
MEMO

こんなことに取り組みます！

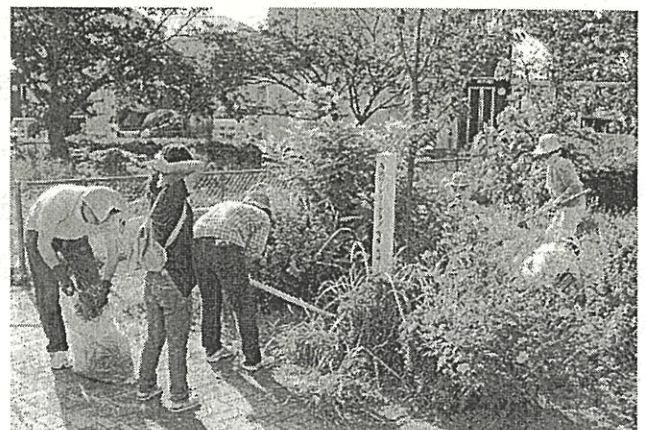
- ☆ 道路や橋りょう等の計画的な維持管理のため、調査・点検を進め、改良や修繕を行います。
- ☆ 災害時でも水が安定的に供給できるよう、災害時避難所へ水道を供給する配水管を耐震管に布設替えするなど、耐震化を進めます。
- ☆ 公園長寿命化計画に則って計画的に公園施設の修繕を進めるとともに、地域の関係団体と協働で「緑のあるまちづくり」を進めます。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 道路の長寿命化を計画的に実施した割合 (幹線道路の舗装)	18.4%	38.6%	↗
2) 配水管の耐震化率	18.5%	25%	↗
3) 公園・緑地・稗田川の水辺・港湾緑地等 を利用している人の割合	〇〇%	〇〇%	↗



▲道路・橋りょう



▲地域による公園管理

▶ 基本目標Ⅲ 明日を生まだすエネルギー やる気を活かせるまちをつくろう

目標 (9)

安全・安心が実感できる地域づくりを進めます

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 市民一人ひとりが、災害・犯罪・交通事故に対する予防や備えに取り組んでいます。
- ◎ 「自助」「共助」「公助」の考えに基づく役割分担と相互の連携が強化され、防災・減災対策、防犯・交通安全対策など、安全・安心を守る活動が地域の中で積極的に行われています。
- ◎ 誰もが安全で安心だと感じながら暮らしています。

目標達成に向けての考え方

近い将来に発生が予測される大震災に加え、集中豪雨・台風・火災などの災害、身近に起きる犯罪・交通事故から生命を守り、被害を最小限に食い止めるため、市民・地域・事業者・関係機関・行政がそれぞれの役割を果たし連携を図る中で、安全・安心に暮らせる環境を築いていきます。

- ◆ 災害に強いまちを築いていくためには、被害の未然防止、発生時の対応、応急・復旧対応といった、総合的な防災・減災対策を強化することが重要です。
- ◆ いざという時に「自らの安全は自ら守る（自助）」、「地域の安全は地域で守る（共助）」を意識し行動できるように、市民一人ひとりが、日頃から地域の中で防災力や防犯力などを高め、実践しておくことが大切です。
- ◆ 住宅侵入盗や特殊詐欺などの犯罪や交通事故などを防ぎ、日常の暮らしの安全・安心を守るためには、市民・地域・事業者・関係機関と連携した取組みを行うことが必要です。

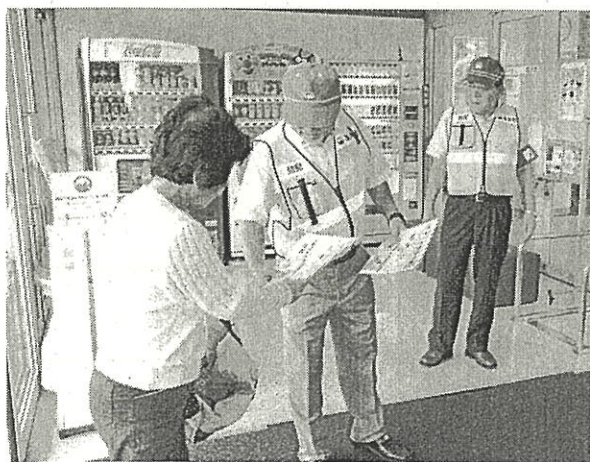
MEMO

こんなことに取り組みます！

- ☆ 誰も防ぐことができない自然災害に対し、市民・地域・事業者・関係機関と「自助」「共助」「公助」の考えに基づく役割分担と相互の連携強化を図り、実践的な防災・減災活動に取り組みます。
- ☆ 「高浜市みんなで犯罪のないまちにしよう条例」に基づき、地域・警察等で構成する高浜市防犯ネットワーク会議を軸に、犯罪抑止活動を推進します。
- ☆ 地域・警察・事業者・関係機関と連携し、特に自転車の運転マナーの向上、高齢者や子どもの交通事故防止に向けた取り組みなど、交通安全対策を進めます。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 地震や風水害に対する備え（食糧や飲料水の備蓄、防災訓練時のタオル掛けなど）ができていると思う人の割合	〇〇%	〇〇%	↗
2) 人口1,000人当たりの犯罪発生件数	6.9件	6件	↘
3) 人口1,000人当たりの交通事故発生件数	3.9件	3件	↘



▲防犯啓発活動のようす



▲外国人向け防災訓練のようす

▶ 基本目標Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

目標(10)

一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 支援を必要とする人に対して、ニーズに応じた適切な相談支援やサービス提供が行われています。
- ◎ 市民における支え合いが広まり、在宅医療サービスと介護サービスが一体的に提供されています。
- ◎ 多様な介護人材が確保・育成され、必要な介護サービスの提供が確保されています。
- ◎ 認知症高齢者や障がい者などに対する理解と支援が進み、本人とその家族が地域で安心した生活を送っています。
- ◎ 多くの市民の方が、支え合いの担い手として活躍しています。

目標達成に向けての考え方

市民が抱える課題や福祉ニーズは、年々複雑で困難なものになっています。家族、近所、町内会、まちづくり協議会などの地縁のネットワークや事業者、関係機関などが協力して、誰もが住み慣れた地域で、その人らしく、安心して生活できる環境を築いていきます。

- ◆ ケアを必要とする人やその家族を支援するため、医療、介護、行政、企業、市民など関係者によるネットワークが構築されていることが重要です。
- ◆ 一人ひとりの個性を尊重し、ニーズに応じたサービスが提供されていることが大切です。
- ◆ 暮らしの中で生じる様々な課題やニーズにきめ細かく対応するために、相談体制の充実が必要です。

MEMO

こんなことに取り組みます！

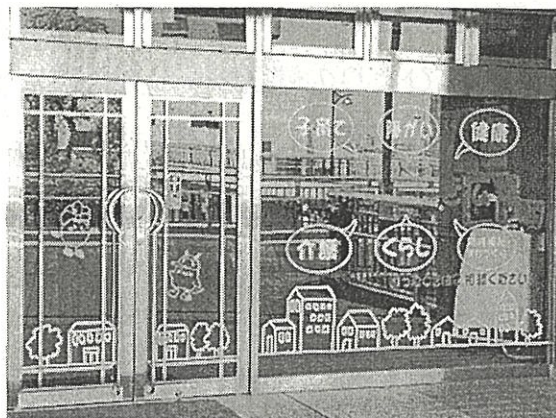
- ☆ 関係機関がネットワークを作り、在宅医療と介護の連携を進めます。
- ☆ 介護サービスを支える多様な人材を確保・育成します。
- ☆ 障がい者の日中活動・居住の場、緊急時の受け入れなどを検討し、地域生活を支援する体制を作ります。
- ☆ 生活困窮者等に対する早期かつ包括的な支援を実施し、自立促進と「貧困の連鎖」の防止を図ります。
- ☆ 災害時に備え、避難行動要支援者の支援体制を構築します。
- ☆ 福祉に対する理解を広め、困りごとを抱える方を支援するボランティアや認知症サポーターを増やし、活躍の場を作ります。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) いきいき広場（総合相談窓口）を知っている人の割合	〇〇%	〇〇%	↗
2) 認知症サポーターの人数	6,836 人	9,300 人	↗
3) 高浜市内でボランティア活動に参加したことがある人の割合	〇〇%	〇〇%	↗



▲認知症サポーター養成講座



▲いきいき広場

▶ 基本目標Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

目標(11)

一人ひとりの元気と健康づくりを応援します

この目標が目指す4年後のまちの姿

- ◎ 一人ひとりが自身の健康状態を把握し、健康づくり活動へ積極的に参加しています。
- ◎ 誰もが住み慣れた地域や家庭で、生きがいを持ち、健康で活発に暮らしています。
- ◎ 医療、介護、予防、生活支援の連携体制（地域包括ケア）が構築されています。

目標達成に向けての考え方

健やかで心豊かに生活するためには、健康であることが大切です。一人ひとりが健康づくり活動に取り組むことができるよう、環境を整備するとともに、健康寿命を延伸させるための事業を実施します。

- ◆ 一人ひとりが健康であり続けるためには、自身の健康をしっかりと認識し、若いうちから、生活習慣を含め、健康寿命を延ばす取り組みを行うことが大切です。
- ◆ 健康で生きがいを持って暮らし続けるには、健康づくりを始めるためのきっかけと継続するための仕組みづくりが必要です。
- ◆ 一人ひとりの健康づくりを応援するためには、行政のみならず、地域全体でバックアップするしくみが大切です。

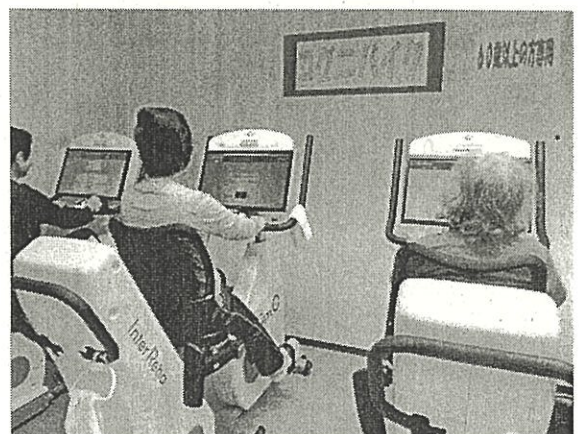
MEMO

こんなことに取り組みます！

- ☆ 運動機能や認知機能など、一人ひとりのライフステージやニーズに応じた多様な健康づくり、介護予防や認知症予防のプログラムを構築し、実践します。
- ☆ 高齢者の居場所である「健康自生地」を応援するとともに、担い手としての活躍の場を創出します。
- ☆ 病気を早期に発見し、適切な治療が受けられる「かかりつけ医」を持つよう働きかけるとともに、医療と介護の連携を推進します。

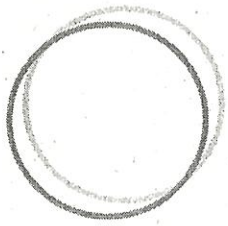
みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値 (2017)	目標値 (2021)	指標の 目指す方向
1) 日常的に外出や運動を楽しんでいる人の割合	〇〇%	〇〇%	↗
2) かかりつけ医を持っている人の割合	79%	84%	↗



▲健康づくり活動のようす

第4章 計画の 進行管理

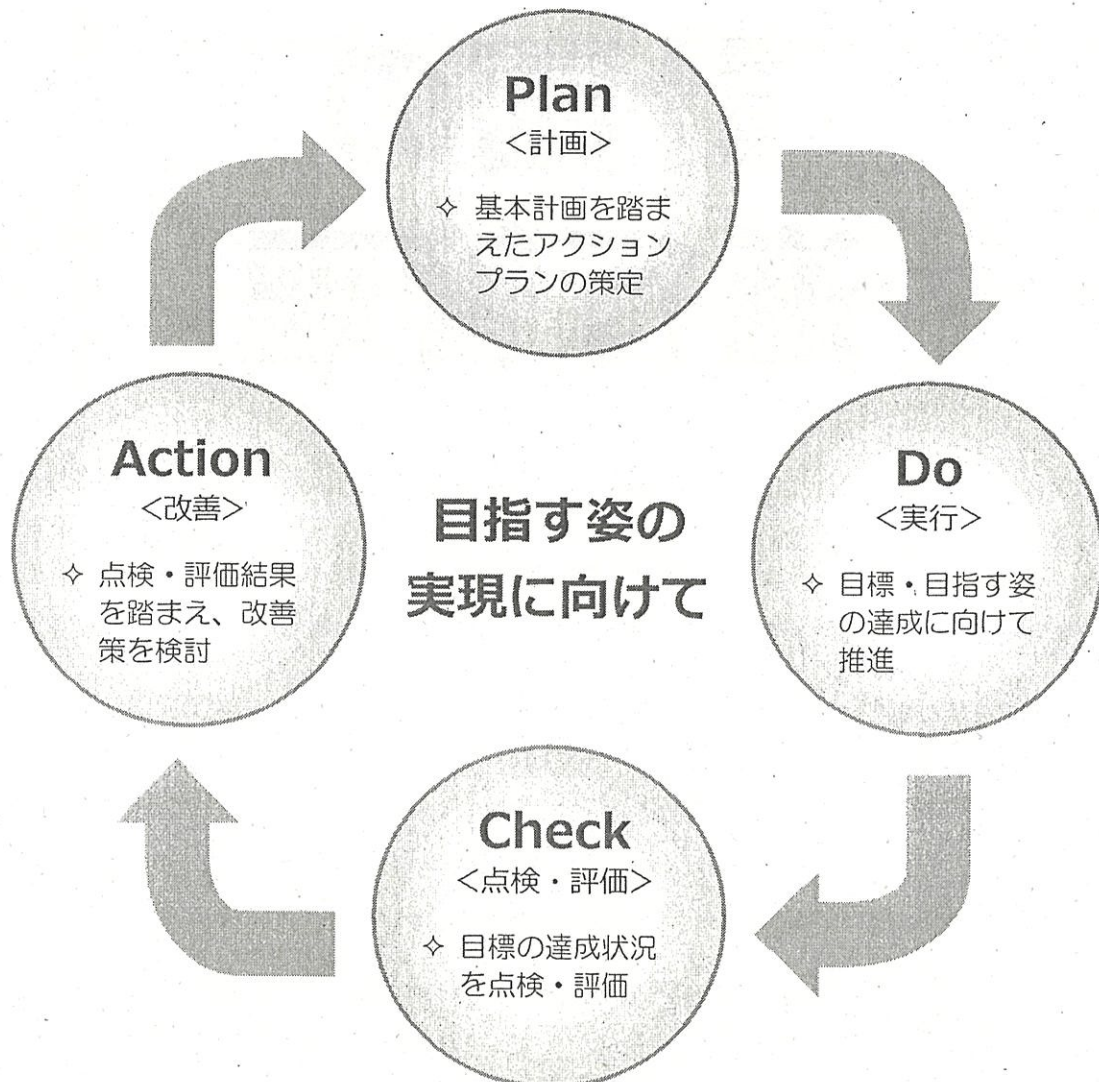


計画の進行管理

目指す姿の実現に向けて、計画を着実に推進していくために・・・

「住んでよかった!」「いつまでも住み続けたい!」と思える高浜市を創っていくために、総合計画の基本計画に掲げる目標の達成に向け、その達成状況を点検・確認し、事業の見直し・改善を行うPDCAサイクルを組み入れ、適切な進行管理を行います。

※PDCA サイクル・・・計画(Plan)し、実行(Do)し、その結果を評価・検証(Check)し、改善策や次の施策に活かしていく(Action)こと。



【計画の進行管理にあたって】

(1) 施策評価の実施

- ・ 目指す姿の実現に向けて、基本計画に掲げる 11 目標について様々な観点から点検・確認し、その結果をアクションプランの見直しに反映させ、より良い行政サービスにつなげます。

(2) 多くの市民を交えながら計画を推進

- ・ 市民や学識経験者で構成する第6次高浜市総合計画推進会議のほか、多くの市民とともに“市が抱える課題の改善につながる具体的なアイデアを考える場”や“市の未来について語り合う場”を設けるなど、計画推進の様々な段階において多くの市民の参加・参画機会を創出し、目指す姿の実現に向けて、計画を推進します。

(3) 推進状況をわかりやすく発信

- ・ 市民と行政が市政運営やまちづくりの課題などについて共通認識を持ち、解決策についてともに考え、目指す姿の実現に向けて行動できるように、点検・確認結果をわかりやすく公表します。

* 「みんなで目指すまちづくり指標」の見直し

- ・ 策定時に設定した「みんなで目指すまちづくり指標」については、施策の進捗や情勢の変化等により、必要に応じて見直しを行っていきます。

MEMO
